

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 1 部門第 2 区分
【発行日】平成27年2月5日 (2015.2.5)

【公開番号】特開2013-135708(P2013-135708A)
【公開日】平成25年7月11日 (2013.7.11)
【年通号数】公開・登録公報2013-037
【出願番号】特願2011-287202(P2011-287202)
【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【 F I 】

A 6 3 F 7/02 3 1 5 A

【手続補正書】

【提出日】平成26年12月12日 (2014.12.12)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 5

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 7】

しかしながら、特許文献 1 のような遊技機では、遊技に対する興趣が高められなかった。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 8】

そこで、本発明は上述したような問題点に鑑みてなされたものであって、新たな遊技性を実現し、遊技の興趣を高めることができる遊技機の提供を主たる目的とする。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 9】

以上の課題を解決するため、請求項 1 に記載の発明は、

遊技領域における始動入賞領域への遊技球の入賞に基づいて、複数の識別情報を変動表示する変動表示ゲームを表示可能な表示部を有する変動表示装置と、遊技球を入賞不可能

とする第 1 状態と遊技球を入賞可能とする第 2 状態とに変換可能な変動入賞装置と、を備え、前記変動表示ゲームの結果が特別結果となった場合に、前記変動入賞装置を前記第 2 状態に変換して、遊技者に対し所定の遊技価値を付与する特別遊技状態を発生可能な制御手段を有する遊技機において、

前記特別遊技状態の終了後、通常遊技状態よりも前記特別遊技状態が発生する確率が高められる特定遊技状態を発生可能であり、

前記変動入賞装置は、

遊技領域の所定の位置に配設される第 1 変動入賞装置と、該第 1 変動入賞装置とは異なる位置に配設される第 2 変動入賞装置と、を備え、

前記特別遊技状態には、第 1 特別遊技状態と、該第 1 特別遊技状態よりも遊技者に付与する遊技価値の低い第 2 特別遊技状態と、が含まれ、

前記制御手段は、

前記特定遊技状態として、前記第 1 特別遊技状態の終了後、通常遊技状態よりも前記第 2 特別遊技状態が発生する確率を高めるように制御可能であり、

前記第 1 特別遊技状態が発生した場合には、前記第 1 変動入賞装置もしくは前記第 2 変動入賞装置を前記第 1 状態から前記第 2 状態に変換して当該第 1 特別遊技状態を制御可能である一方、

前記第 2 特別遊技状態が発生した場合には、前記第 2 変動入賞装置を前記第 1 状態から前記第 2 状態に変換して当該第 2 特別遊技状態を制御可能であり、

前記第 2 特別遊技状態において、前記第 2 変動入賞装置が前記第 2 状態に変換される変換態様が複数設定されることを特徴としている。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0015

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0015】

請求項 1 に記載の発明によれば、新たな遊技性を実現し、遊技の興趣を高めることができる。

【手続補正 9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0016

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 10】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0017

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0017】

請求項 2 に記載の発明は、請求項 1 に記載の遊技機において、
前記第 2 変動入賞装置の内部に設定され、当該第 2 変動入賞装置が前記第 1 状態から前記第 2 状態に変換されることにより遊技球が流入可能な特定領域を備え、
前記制御手段は、
前記特定遊技状態として、前記第 1 特別遊技状態の終了後、通常遊技状態よりも当該第 1 特別遊技状態が発生する確率を高めるように制御可能であり、
発生した前記特別遊技状態において、前記特定領域へ遊技球が流入したことに基づいて、前記特定遊技状態を発生させることが可能であることを特徴としている。

【手続補正 1 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 8】

請求項 2 に記載の発明によれば、発生した特別遊技状態において、特定領域へ遊技球が流入したことに基づいて、特定遊技状態を発生させることができる。

【手続補正 1 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 9

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 1 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 0

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 1 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 1

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 1 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 2

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 1 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 3

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 1 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 4

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 1 8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 5

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 19】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0026

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 20】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0027

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0027】

本発明によれば、新たな遊技性を実現し、遊技の興趣を高めることができる。

【手続補正 21】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技領域における始動入賞領域への遊技球の入賞に基づいて、複数の識別情報を変動表示する変動表示ゲームを表示可能な表示部を有する変動表示装置と、遊技球を入賞不可能とする第1状態と遊技球を入賞可能とする第2状態とに変換可能な変動入賞装置と、を備え、前記変動表示ゲームの結果が特別結果となった場合に、前記変動入賞装置を前記第2状態に変換して、遊技者に対し所定の遊技価値を付与する特別遊技状態を発生可能な制御手段を有する遊技機において、

前記特別遊技状態の終了後、通常遊技状態よりも前記特別遊技状態が発生する確率が高められる特定遊技状態を発生可能であり、

前記変動入賞装置は、

遊技領域の所定の位置に配設される第1変動入賞装置と、該第1変動入賞装置とは異なる位置に配設される第2変動入賞装置と、を備え、

前記特別遊技状態には、第1特別遊技状態と、該第1特別遊技状態よりも遊技者に付与する遊技価値の低い第2特別遊技状態と、が含まれ、

前記制御手段は、

前記特定遊技状態として、前記第1特別遊技状態の終了後、通常遊技状態よりも前記第2特別遊技状態が発生する確率を高めるように制御可能であり、

前記第1特別遊技状態が発生した場合には、前記第1変動入賞装置もしくは前記第2変動入賞装置を前記第1状態から前記第2状態に変換して当該第1特別遊技状態を制御可能である一方、

前記第2特別遊技状態が発生した場合には、前記第2変動入賞装置を前記第1状態から前記第2状態に変換して当該第2特別遊技状態を制御可能であり、

前記第2特別遊技状態において、前記第2変動入賞装置が前記第2状態に変換される変換態様が複数設定されることを特徴とする遊技機。

【請求項 2】

前記第2変動入賞装置の内部に設定され、当該第2変動入賞装置が前記第1状態から前記第2状態に変換されることにより遊技球が流入可能な特定領域を備え、

前記制御手段は、

前記特定遊技状態として、前記第1特別遊技状態の終了後、通常遊技状態よりも当該第1特別遊技状態が発生する確率を高めるように制御可能であり、

発生した前記特別遊技状態において、前記特定領域へ遊技球が流入したことに基づいて

、前記特定遊技状態を発生させることが可能であることを特徴とする請求項１に記載の遊技機。